

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年6月20日

茨城県知事 殿

提出者

住 所 北茨城市中郷町日棚 644-55

氏 名 サラヤ株式会社関東工場

工場長 楠田 和也

電話番号 0293-30-8383

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称

サラヤ株式会社 関東工場

事業場の所在地

北茨城市中郷町日棚 644-55

計画期間

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類

16 : 化学工業

②事業の規模

前年度製品出荷額 : 138 億円

③従業員数

228 名

④産業廃棄物の一連の
処理の工程

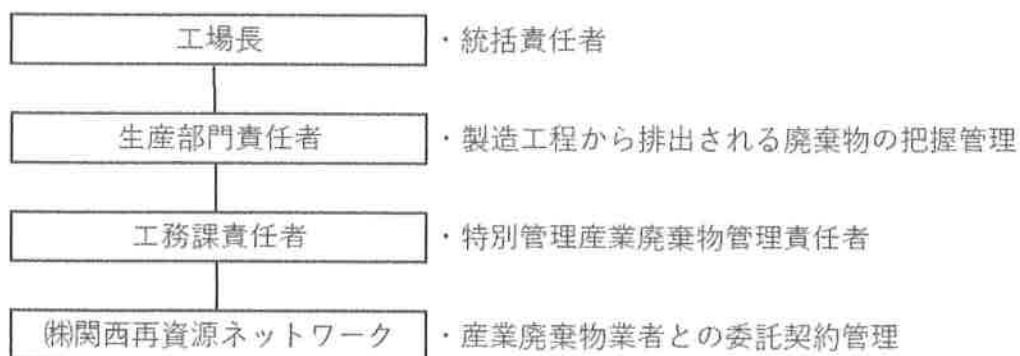
別紙1のとおり



(日本工業規格 A 列 4 番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 別紙2のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラ類の一部を洗浄分別により、有価物として排出 金属類、段ボール類も分別し有価物として排出 アルコール廃油類、動植物性残さも有価物として排出
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物分別指導の継続、及び廃棄物置き場の巡視 有価引き取り業者の開拓

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		該当なし	
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 該当なし			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		該当なし	
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		別紙3のとおり	
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

当該事業所において現に行っている事業に対する事項

④産業廃棄物の一連の処理工程

分類	種類	廃棄区分	委託処理 (中間・最終処理)
ワイドーパー (紙類)	JIS用紙、上質紙など	リサイクル	再生
ダンボール (紙類)	ダンボール紙、ホール紙 紙管(ストレッチフィルム芯など) カタログ(雑誌)	リサイクル	再生
布類①	古着のみ ※作業服や汚損状態の布は不可	リサイクル	再生
金属類	一斗缶、ペール缶(香料缶など) スプレー缶、原料ドラム缶 他金属類 (鉄、ステン、真鍮、電線など)	リサイクル	再生
プラスチック容器類	原料プラスチック容器(PP、PE)	リサイクル	再生
樹脂ドラム缶	樹脂製の原料D/M	リサイクル	再生
ビニールラップ (ストレッチフィルム)	部材の梱包ビニール袋 製品包装のラップ(ストレッチフィルム) 製品梱包のPPバント等	リサイクル	再生
動植物性残さ	エリスリトール類	リサイクル	再生
紙おむつ (廃プラ類)	保育所より排出される 紙おむつ	産業廃棄物	焼却・熱回収
混合プラスチック (容器包装類)	プラスチック(破損、汚損、紙ラベル貼付け) キャップ、ホーンヘッド(軽金属混じり可能) 雨傘、塩ビ管(その他樹脂製のもの) スリッパパック、小さなプラスチック部品、作業靴 BIB容器、樹脂フィルター類 原料フレキシバック、多量の発泡スチロール ホース類(長尺のものは切断する)	産業廃棄物	焼却・熱回収
ガラスくず	薬瓶(試薬瓶)など 試験管、ガラスペレット、フラスコなど 陶磁器類	産業廃棄物	破碎・路盤材
乾電池	アルカリ、マンガン、コイン	産業廃棄物	その他の 中間処理 再生
水銀使用製品産業廃棄物	UVランプ、蛍光灯	産業廃棄物	破碎・再生
木くず	木パレット 木端(釘、コルク混じり可能)	産業廃棄物	破碎・再生
汚泥	無機性汚泥 有機性汚泥	産業廃棄物	脱水・埋立
廃液	廃アルカリ インク類 廃油 廃酸	産業廃棄物	中和・焼却・下水放流

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状【前年度（令和４年度）実績】 1094t

産業廃棄物の種類	脱水汚泥	余剰汚泥	廃酸	廃アルカリ	廃プラ（紙おむつ）	廃プラ（プラスチック製用容器包装）	木くず	乾電池	ガラスくず
排出量	79.9 t	56.8 t	1.7t	930.1 t	0.89 t	8.4 t	16.3 t	0.02 t	0.16 t

これまでに実施した取り組み

- ・廃プラ類の一部を分別洗浄により、有価物として排出
- ・動植物性残さを有価物として排出（飼料の原料）
- ・業務フロー及び手順書の見直しにより製造ロスの削減

②計画【目標】 1147t

産業廃棄物の種類	脱水汚泥	余剰汚泥	廃酸	廃アルカリ	廃プラ（プラスチック製用容器包装）	木くず	乾電池	ガラスくず
排出量	95 t	120 t	2t	900 t	10t	20 t	0.02 t	0.2 t

今後実施する予定の取組

- ・引きつづき上記取り組みを実施
- ・有価引き取り業者の開拓
- ・新棟稼働のため生産量の増加に伴い、一部の廃棄物は増加計画

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状【前年度（令和４年度）実績】

産業廃棄物の種類	脱水汚泥	余剰汚泥	廃酸	廃アルカリ	廃プラ (プラスチック製用容器包装)	木くず	ガラスくず	
全処理委託量	79.9 t	56.8 t	1.7t	930.1 t	8.4 t	16.3 t	0.16 t	
優良認定処理業者への 処理委託量			1.7t	930.1t	8.4t		0.16t	
再生利用業者への 処理委託量				427.3t		16.3t	0.16t	
認定熱回収業者への 処理委託量								
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量			1.7t	502.8t	8.4t			

これまでに実施した取り組み

環境省の優良さんばいナビや地元の産廃業者並びに関連企業からの情報をもとに業者の選定をしている。
定期的に許可証の見直しや、マニフェストの最終処分地と契約書の最終処分地の確認などもおこない、
委託順守ができているかどうか確認している。

②計画【目標】

産業廃棄物の種類	脱水汚泥	余剰汚泥	廃酸	廃アルカリ	廃プラ (プラスチック製用容器包装)	木くず	乾電池	ガラスくず
排出量	95 t	120 t	2t	900 t	10 t	20 t	0.02 t	0.2 t
優良認定処理業者への 処理委託量			2t	900t	10t		0.02t	0.2t
再生利用業者への 処理委託量				360t		20t	0.02t	0.2t
認定熱回収業者への 処理委託量								
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量			2t	540t	10t			

今後実施する予定の取組

引きつづき上記取り組みを実施し、優良認定処理業者や再生利用業者への委託を優先する。
現地監査を行い監査表を作成し、契約書通りに運用されているか確認する。